

科目名	西洋経済史	科目分類	■専門科目群 (第1グループ) □総合科目群 (第2グループ)
			経済学科 □必修 ■選択 学科 □必修 □選択
英文表記	History of western economy	開講年次	□1年 □2年 ■3年 □4年
ふりがな	たかはほ やすなが	開講期間	□前期 □後期 □通年 ■集中
担当者名	高千穂 安長	修得単位	2 単位
授業のテーマ	ヨーロッパの発展過程を古代から文化的な背景も理解しつつ、現在の経済システムである資本主義の成立に至る過程を、イギリス産業革命後を主に理解することにより、必要な判断が下せるようになる。		
到達目標	経済記事が理解でき、自分の意見を表明できるようになる。		
授業概要	世界に先駆けて産業革命を成功させ、パックスブリタニカを実現し、世界の中心国家だったイギリスがなぜ衰退し、アメリカに取って代わられたのかをメインのテーマとして考察していく。		
授業計画			
第1回	イントロダクション	西洋経済史で学ぶこと、成績評価等の解説	
第2回	古代～中世		
第3回	中世～近代		
第4回	絶対主義 重商主義		
第5回	グローバリゼーション 大航海時代		
第6回	産業革命前の各国の状況		
第7回	第一次産業革命		
第8回	帝国主義	パックスブリタニカ	
第9回	第二次産業革命		
第10回	第一次世界大戦から第二次世界大戦前		
第11回	第二次世界大戦		
第12回	第二次世界大戦後	新しい国際秩序	
第13回	近代の世界経済		
第14回	現代の世界経済		
第15回	総復習	学生の理解が低い箇所について解説	
第16回	定期試験		
授業時間外の学習	授業前に各授業時に配布されるレジюмеについて目を通しておく 分からないことは自分なりに調べておく		
履修条件 受講のルール	特にシークエンス条件はないが、西洋の地理・地勢的な状況等を地図で調べておくのが望ましい。		
テキスト	毎回、次回講義レジюмеを配布する。		
参考文献・資料	経済史入門-経済学入門シリーズ (日経文庫) 新書-2003		
成績評価の方法	出席が2/3に満たない場合は受験を認めない。また、遅刻は1回につき1/3欠席とする。 成績評価は、受講態度(含討議参加度)など平常点40%、期末テスト40%、ミニテスト等20%とする。 出席が規定に満たなかった場合、授業料その他納入金が未納の場合は試験を受けることができません。		
オフィスアワー	集中講義時間はいつでもオープン		
成績評価基準	平成28年度(2016)以降入学した学生 秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下) 平成27年度(2015)以前に入学した学生 優(100~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下)		

学生への
メッセージ

歴史は「過去の教訓」を学ぶことであり、現在の世界経済の中心の一つである西洋の経済の成長・発展過程を学ぶことは今後の社会人生活に役立つことが多い。大いに興味を持ち、ニュースなどにも注意を払うことが望ましい。

